

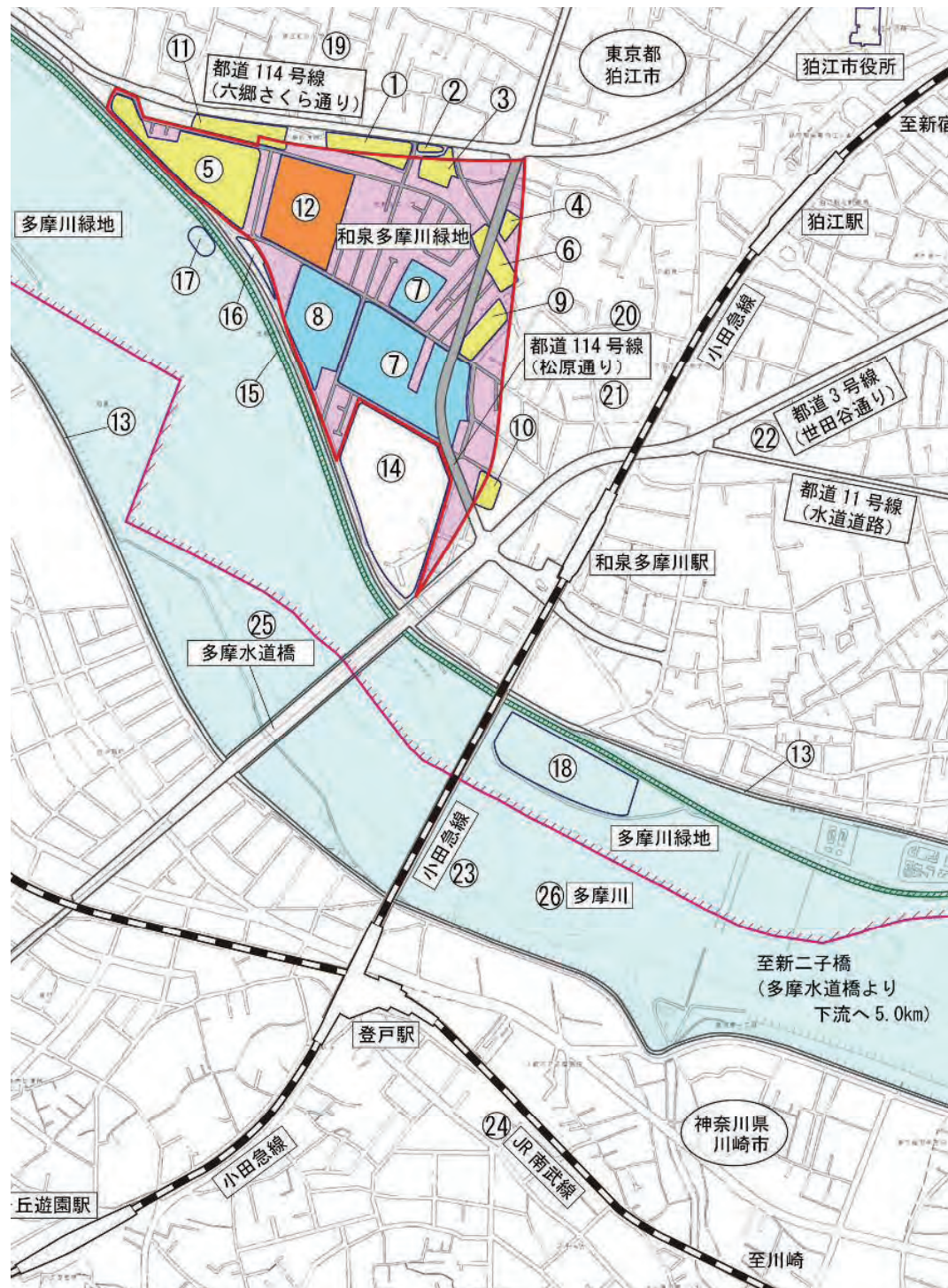
# 和泉多摩川緑地 都立公園化実現に向けて



2024年5月 和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会

# 1 和泉多摩川緑地を知っていますか？

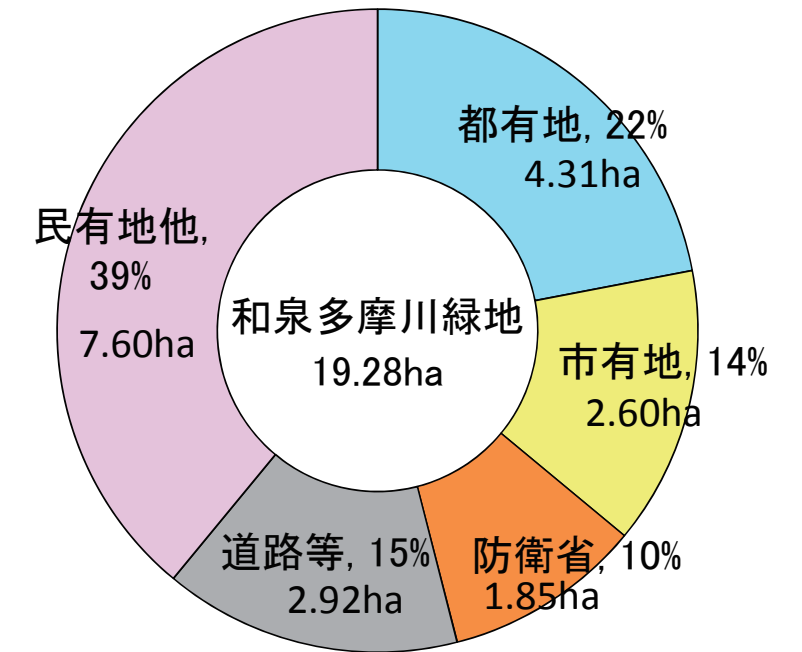
和泉多摩川緑地は狛江市南西部にあり、多摩川と3つの都道に接し、多摩水道橋の橋詰に位置する地域です。  
 そんな和泉多摩川緑地は1939年の「東京緑地計画」をうけて1942年に都市計画決定されました。



— 現状都市計画区域線

施設名称	面積 (㎡)	
	区域内	区域外
①西河原自然公園	1,176.11	3,742.25
②田中橋児童遊園		531.31
③古民家園	2,491.35	341.89
④元和泉公園	920.49	40.85
⑤西河原公園	16,074.08	329.62
⑥田中の池児童公園	1,167.59	
⑦都水道局緊急資材置場	30,875.65	
⑧東京都水道局狛江住宅	12,244.36	
⑨元和泉テニスコート	3,477.96	47.22
⑩和泉多摩川児童公園	239.12	1,623.67
⑪西河原公民館・あいとびあセンター	460.08	4,553.70
⑫防衛省共済組合	18,494.06	
⑬多摩川堤防		
⑭都立狛江高校		
⑮多摩川緊急河川敷道路		
⑯松林児童遊園		875.14
⑰多摩川五本松		
⑱多摩川緑地公園グランド		
道路等	29,232.84	
民有地他	75,928.31	
計	192,782.00	12,085.65

和泉多摩川緑地周辺施設内訳



和泉多摩川緑地の土地利用状況



③古民家園



⑤西河原公園

出典：狛江市和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想

## ①構想作成までの経緯

1995年	都知事 - 狛江市長会談をきっかけに狛江市が緑地地区の都立公園化構想を策定し東京都に協議したが、不調に終わる。
2001年	東京都水道局から狛江市に水道局用地売却の意向が示され、狛江市が運動公園建設案で検討したが関係者の同意を得られず断念。
2015年	委員会で検討し、下図の構想が完成。東京都に都立公園化の協議を開始する。その後都市計画マスタープランにも明記。



## ②構想の内容について

和泉多摩川緑地に都立公園を誘致することによって、新たな時代のニーズに対応したまちづくりを推進していくことを目指して、和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想はまとめられました。

内容は

第1章：和泉多摩川緑地を取り巻く状況

第2章：和泉多摩川緑地を都立公園として整備する意義

第3章：パークマネジメントによる新しい公園の管理と運営

第4章：資料

がまとめられています。

構想によれば、協議から整備までを3つの段階に分けて考えています。

	段階	主体	内容	
協議段階	第1段階	東京都 狛江市	<b>【都立公園誘致の協議及び都市計画変更段階】</b> 狛江市が都立公園誘致に向けた協議を東京都と行い、公有地を中心として整備を推進するため、東京都が現状の市立公園等を含めできるだけ周辺の公有地を取り込む都市計画変更を行います。	
	↓			
	第2段階	東京都	<b>【公有地を中心に整備をする段階】</b> 市有地や東京都及び防衛省が所有する土地を活用し、整備を進める段階とします。	※市が行うこと 公園へのアクセス確保のための道路等の付帯的な基盤整備を含む
整備段階	↓			
	第3段階	東京都	<b>【公園等を成形化するために検討を始める段階】</b> 公有地を中心とした整備を踏まえた将来公園像の再確認を行いながら、必要な段階的整備を行い、公園機能の拡充を図ります。	区域周辺のまちづくりや市域全体の市立公園の適正な配置について、市は取り組みを進めます。

### ③和泉多摩川緑地を都立公園として整備する意義

#### 《日常的な意義》

多様な交流ができる  
スポーツ・レクリエーション  
空間確保のため

- ①高齢者・障がい者を含めた誰もが利用できるインクルーシブな公園の展開
- ②周辺公園・緑地の連携強化による都民サービスの充実
- ③関係機関の連携による共通目的に向けた公共用地の有効活用の検討
- ④都市住環境とレクリエーション機能の調和の推進

多摩川の景観軸の拠点形成と  
環境保全機能の向上のため

- ①一級河川である多摩川沿いの景観等を総合的に牽引する都市公園
- ②立体都市公園制度による水源の歴史遺産を活用した拠点づくり
- ③生物多様性時代等を見据えた地域と一体化する総合環境公園への展開
- ④貴重なオープンスペースである多摩川の都市環境保全の推進

#### 《災害時の意義》

首都直下地震等に備える  
広域防災機能確保のため

- ①多摩川の上流から下流までをつなぐ防災連携の拠点
- ②ライフライン・都市インフラの復旧・復興活動の拠点
- ③橋詰空間を活かした帰宅支援機能
- ④都県境をつなぐ広域受援機能拠点
- ⑤河川堤防一体となった公園整備の推進

狛江市行政と市議会の動きに対応して市民の有志が集まり、情報交換の上、東京都に都立公園建設の請願の個人署名・団体署名を提出しました。

2004年5月に「和泉多摩川緑地公園化話し合い会」の規約と名称が決まりました。  
話し合いの会発足後は、会員だけではなく狛江市民や市議、関係機関などと積極的に交流し、意見交換を行いました。

#### 年表

2001年9月	狛江市市議会体育協会陳情採択。
2002年4月	「協議会」発足。
2002年7月	東京都に都立公園建設の請願署名 10,025 筆提出。
2003年11月	東京都に都立公園建設の請願署名 117 団体分提出。
2004年5月	「和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会」の規約施行。
～現在	公園見学会、講演会、シンポジウム、ワークショップ、報告会など計 11 回開催。

## ●主な活動



2006年2月 防災講演会 中央公民館ホール



2006年9月 公園見学会 杉並区馬橋公園



2007年11月 防災ワークショップ  
首都大学東京（当時）中林一樹先生に  
2005年から数年間ご指導いただきました。



2009年4月 防災研ワークショップ  
（財）都市緑化機構防災公園技術普及推進共同研究会（防災研）に  
2008年より数年間ご指導いただきました。

## ●ガイドマップの発行

これらの活動の趣旨と内容を市民の皆さんに理解していただくため、2008年7月と2010年2月にガイドマップを発行し、関係者に配布、一般の方に販売しました。

この印刷費は狛江市の助成金を活用しました。



2008年7月版



2010年2月版

#### ●狛江市「構想」委員会への参加

2014年に始まった「構想委員会」(委員長：中林一樹先生)には当会会員(当時)3名が応募し就任しました。

会議の準備として現地見学会を呼びかけ、現況の把握と関係者の意思疎通を図りました。



2014年9月 構想委員会現地見学会

#### ●狛江市行事への参加

・狛江市は東京都に構想を提出した後、毎年公園フォーラムを開催しています。会員の参加と市民への参加の呼びかけに協力し、構想の意味を深めることに努めました。

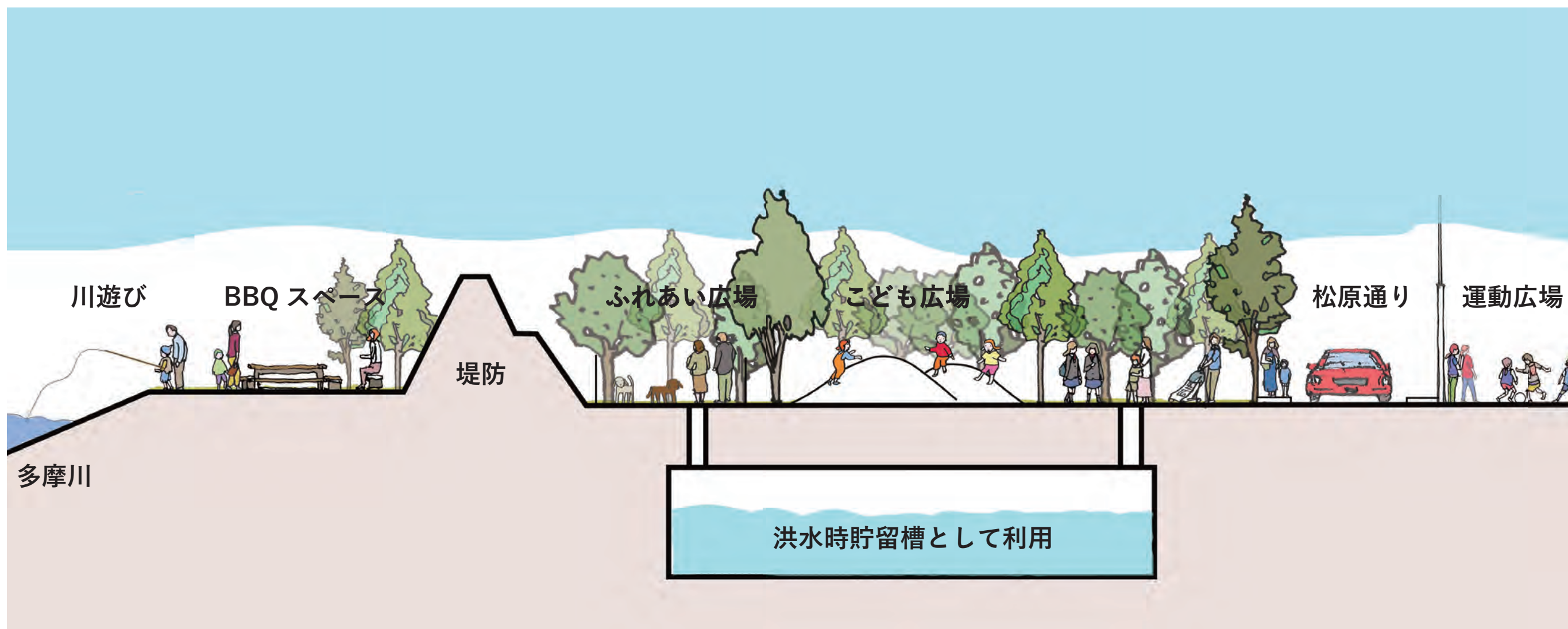
・都市計画マスタープランの改定作業に協力しました。



公園フォーラムの様子



2021年12月に行われた公園フォーラム内の意見交換会で公園の利活用について様々な意見が出されました。  
そこで出た意見を「日常時の利用」と「災害時の利用」の2つのパターンに分け、それぞれのパターンについてプランニングやイメージスケッチを考えました。



断面図イメージ

●日常時の利用 多様な交流ができるスポーツ・レクリエーション空間確保と、多摩川の景観軸の拠点形成と環境保全機能向上を目指しました。



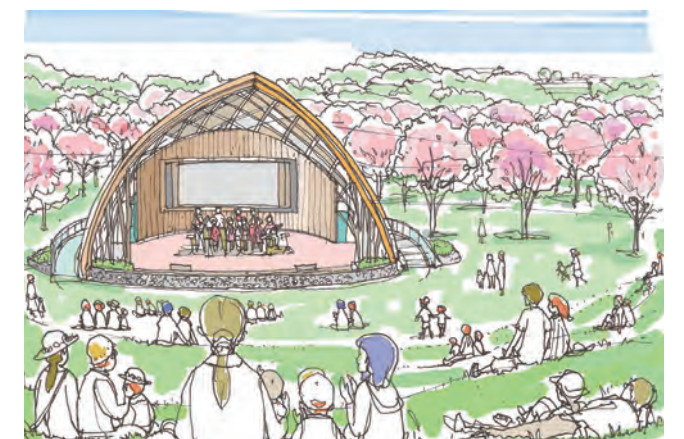
日常時のプランニング



イメージスケッチ



運動広場イメージ



芝広場イメージ

●災害時の利用 首都直下地震等に備える広域防災機能確保を目指しました。



災害時のプランニング



イメージスケッチ



応援団体イメージ



救急車両集結地イメージ



「和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会」は現在、メンバー募集中です。

気になる方は右記の連絡先までお気軽にご連絡ください。連絡先：稲田幸一郎 電話/FAX 03-3480-7815